

すでに配信が開始された記事の送信制限を変更する場合、まずは配信履歴詳細ページの状態欄にある配信停止ボタンで配信を一度停止します。

メールマガジンの設定 > test > 配信履歴一覧 > 履歴詳細

状態	配信日	配信開始時刻	ストーリー	メール形式
 配信中	2020-07-17(金)	09:09:05	号外	テキスト

到達部数/配信部数	到達率	所要時間	配信フィルタ
1/2	50 %	測定中	なし

到達状況	
到達 (暫定)	 1 (50%)

次に、メールマガジンの設定内の自動IPウォームアップ設定より、有効無効の切り替え、もしくは、同ページのスケジュール設定より、送信制限のスケジュールを変更します。

※自動IPウォームアップ機能を無効にした場合、メール送信設定で保存された、手動送信制限に沿って配信が行われます。

メールマガジンの設定 > test > 自動IPウォームアップ設定

自動IPウォームアップ
(β版)

- 自動IPウォームアップ機能を有効にする
- 自動IPウォームアップ機能を無効にする

現在のIP年齢は0日、送信制限は1通一斉送信したら180秒待つ(20通/時)に設定されず。

スケジュール
終了後の動作

- 自動IPウォームアップ機能を有効のままにする
- 自動IPウォームアップ機能を無効にする

※自動IPウォームアップ機能の有効・無効に関わらず、設定されたスケジュールの終了後は、信設定で設定された下記の手動送信制限が適用されます。

100通一斉送信したら60秒待つ

メール送信設定

ウォームアップ
スケジュール

IP年齢	送信制限 (通/時)	IP年齢	送信制限 (通/時)
0	20	11	810
1	28	12	1,000
2	39	13	1,587
3	55	14	2,222
4	77	15	3,111
5	108	16	4,356
6	151	17	6,098
7	211	18	8,583
8	295	19	11,953
9	413	20	16,734
10	579		

スケジュール設

設定を保存

戻る

配信履歴詳細配信がの抜状態にある配信再開ボタンで配信を再開することで、新しい送信制限

メールマガジンの設定 > test > 配信履歴一覧 > 履歴詳細

状態	配信日	配信開始時刻	ストーリー	メール形式
 配信停止  	2020-07-17(金)	09:09:05	 号外	テキスト

到達部数/配信部数	到達率	所要時間	配信フィルタ
1/2	50 %	—	なし

到達状況	
到達 (暫定)	 1 (50%)

参考リンク [配信完了までの時間が遅い/記事によって時間が異なるのはなぜですか？](#)